

令和3年度 みよし市障がい者自立支援協議会 第2回全体会 次第

日時：令和3年11月29日（月）

午前10時から正午まで

場所：みよし市役所3階

研修室1，2，3

第1 あいさつ

第2 協議事項

1 令和3年度のみよし市障がい者自立支援協議会について

(1) 運営会議の事業報告、意見交換

人材育成検討チームの事業報告、意見交換

暮らしの場検討チームの事業報告、意見交換

(2) 児童部会の事業報告、意見交換

(3) 就労支援部会の事業報告、意見交換

(4) 精神保健福祉部会の事業報告、意見交換

(5) 医療的ケアさぽーと部会の事業報告、意見交換

2 地域生活支援拠点の整備について

第3 その他（各機関からの連絡事項など）

みよし市障がい者自立支援協議会 全体会 参加者

構成員の分類	所属先	職名	氏名
市内障がい者相談支援事業所	わらび	理事長	熊谷 かの子
//	しおみの丘	管理者	松平 幸彦
//	みよし市社会福祉協議会	地域福祉課 課長	福岡 光久
市内障がい福祉事業所	泰山寮	施設長	柴田 弘二
//	特定非営利活動法人いきもの語り 重症児デイ オハナ	児童発達支援 管理責任者	古橋 学
//	一般社団法人みよしはたらく協議 会	代表理事	鶴田 清
//	jsk 株式会社	代表	川口 順也
市内障がい当事者団体	みよし市身体障害者福祉協議会	会長	高以良 弘美
//	みよし市手をつなぐ親の会	会長	岸野 佳江
//	みよし市精神障がい者家族会	会長	畠中 菊代
就労・雇用の関係機関	豊田公共職業安定所	所長	鈴木 斉
//	西三河北部障害者就業・生活支援セ ンター	室長	西村 多恵
保育・教育・療育の関係 機関	豊田市こども発達センター	地域療育相談室 室長	神谷 真巳
//	愛知県立三好特別支援学校	進路指導主事	井上 亘
//	豊田市立豊田特別支援学校	高等部主事	大須賀 唯哲
保健・医療の関係機関	みよし市民病院	主事	阿部 優奈
行政機関	愛知県豊田加茂福祉相談センター	次長兼 地域福祉課長	柴田 直之
//	愛知県衣浦東部保健所	課長補佐	中根 恵美子
//	みよし市教育委員会	指導主事	菅田 健
相談支援地域アドバイザー	むもん生活支援センター	センター長	阪田 征彦
みよし市障がい者自立支 援協議会専門部会部会長	児童部会	部会長兼担当	戸村 智香
//	就労支援部会	—	—
//	精神保健福祉部会	部会長	兼重 隆
//	医療的ケアさぼーと部会	部会長	川北 小有里

事務局	職名	氏名	部会等事務局	職名	氏名
みよし市役所 福祉部	次長兼福祉課長	深津 栄子	人材育成検討チーム	担当	秋田 雅治
	福祉課主事	児島 裕子	暮らしの場検討チーム	担当	深田 明男
	福祉課主事	立石 恵莉	就労支援兼精神保健福祉部会	担当	小西 浩文
			医療的ケアサポート部会	担当	中根 千恵

令和3年度 みよし市障がい者自立支援協議会  
第2回全体会

## 2 令和3年度のみよし市障がい者自立支援協議会について

### (1-1) 運営会議の事業報告、意見交換

- ア 令和3年度の目標
- イ 具体的な取組状況
- ウ 会議での協議内容

### (1-2) 人材育成検討チームの事業報告、意見交換

- ア 令和3年度の目標
- イ 具体的な取組状況

### (1-3) 暮らしの場検討チームの事業報告、意見交換

- ア 令和3年度の目標
- イ 具体的な取組状況

### (2) 児童部会の事業報告、意見交換

- ア 令和3年度の目標
- イ 具体的な取組状況
- ウ 部会での協議内容
- エ 研修協力について

### (3) 就労支援部会の事業報告、意見交換

- ア 令和3年度の目標
- イ 具体的な取組状況
- ウ 部会での協議内容

### (4) 精神保健福祉部会の事業報告、意見交換

- ア 令和3年度の目標
- イ 具体的な取組状況
- ウ 部会での協議内容

### (5) 医療的ケアさぽーと部会の事業報告、意見交換

- ア 令和3年度の目標
- イ 具体的な取組状況
- ウ 部会での協議内容

## (1-1) 運営会議の事業報告、意見交換

### ア 令和3年度の目標

- ①障がい者相談支援事業等で確認できた地域課題と、解決に向けた取組の方針が、自立支援協議会構成員内で共有されている。
- ②各専門部会及び検討チームが滞りなく運営されている。
- ③みよし市における地域生活支援拠点等の整備状況が評価され、自立支援協議会構成員内で共有されている。
- ④全体会で協議すべき内容及び優先順位が整理・共有されている。

### イ 具体的な取組状況

- ①障がい者相談支援事業等で確認できた地域課題と、解決に向けた取組の方針が、自立支援協議会構成員内で共有されている。  
運営会議において、基幹的相談支援センター担当から、相談支援事業等（個別支援会議や事例検討会等）で確認できた地域課題の報告を受けた。  
詳細は別紙資料（資料 No.1）のとおり。

- ②各専門部会及び検討チームが滞りなく運営されている。  
運営会議において、各専門部会及び検討チームの取組状況を確認した。  
詳細は下部ウのとおり。

- ③みよし市における地域生活支援拠点等の整備状況が評価され、自立支援協議会構成員内で共有されている。  
運営会議において、地域生活支援拠点（以下、「拠点等」。）の整備について具体的な協議を行った。

#### 【取組内容】

時期	取組	内容
令和3年 6月10日	6月 運営会議	・地域診断表の5項目（相談、緊急時の受け入れ、体験の機会・場、専門的人材（SW）の確保・養成、地域の体制づくり）の現在の状況について協議。
令和3年 7月8日	7月 運営会議	・地域診断表の3項目（みよし市（行政）の関わり、自立支援協議会・相談支援事業（基幹センター）等の状況、事業所の意識・関わり）の現在の状況について協議。

令和3年 7月21日	第1回 全体会	・地域生活支援拠点の現在の状況について意見徴収。
令和3年 8月5日	8月 運営会議	・レベルを上げるための今年1年間の目標を決定。
令和3年 8月	意見書の提出依頼	・全体会構成員に地域診断表について意見徴収。
令和3年 9月9日	9月 運営会議	・意見書の回答について情報共有 ・今後の進め方について検討
令和3年 11月	ヒアリング	・ご意見をいただいた全体会構成員にヒアリングを実施。

④全体会で協議すべき内容及び優先順位が整理・共有されている。

7月及び11月運営会議において、整理・共有を行った。詳細は下部ウのとおり。

#### ウ 会議での協議内容

時期	会議	内容
令和3年 4月9日	4月 運営会議 開催	・令和3年度自立支援協議会の体制について共有。 ・令和3年度の各部会・チームの運営目的等の確認。
令和3年 5月7日	5月 運営会議 開催	・4月の各部会・チームの動向確認。 ・4月の地域課題について報告・共有。 ・地域生活支援拠点等の整備、地域診断表について共有。
令和3年 6月10日	6月 運営会議 開催	・5月の各部会・チームの動向確認。 ・5月の地域課題について報告・共有。 ・地域診断表の5項目の現在の状況について協議。
令和3年 7月8日	7月 運営会議 開催	・第1回全体会における協議内容の確認。 ・6月の各部会・チームの動向確認。 ・6月の地域課題について報告・共有。 ・地域診断表の3項目の現在の状況について協議。

令和3年 7月21日	第1回 全体会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和3年度の協議会の体制について共有。</li> <li>・令和3年度の各部会・チームの運営目的等について意見聴取。</li> <li>・地域生活支援拠点の現在の状況について意見徴収。</li> </ul>
令和3年 8月5日	8月 運営会議 開催	<ul style="list-style-type: none"> <li>・7月の各部会・チームの動向確認。</li> <li>・7月の地域課題について報告・共有。</li> <li>・自立支援協議会運営要綱及び各専門部会運営要領について協議。</li> <li>・地域診断表について協議。</li> </ul>
令和3年 9月9日	9月 運営会議 開催	<ul style="list-style-type: none"> <li>・8月の各部会・チームの動向確認。</li> <li>・8月の地域課題について報告・共有。</li> <li>・協議会主催のシンポジウムの内容について協議。</li> </ul>
令和3年 10月7日	10月 運営会議 開催	<ul style="list-style-type: none"> <li>・9月の各部会・チームの動向確認。</li> <li>・9月の地域課題について報告・共有。</li> <li>・地域支援生活支援拠点等について今後の進め方を検討。</li> <li>・協議会主催のシンポジウムの内容について協議。</li> </ul>
令和3年 11月5日	11月 運営会議 開催	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第2回全体会における協議内容の確認。</li> <li>・10月の各部会・チームの動向確認。</li> <li>・10月の地域課題について報告・共有。</li> <li>・上半期地域課題報告書について共有。</li> <li>・協議会主催のシンポジウムの内容について協議。</li> </ul>



## (1-2) 人材育成検討チームの事業報告、意見交換

### ア 令和3年度の目標

- ①障がい福祉従事者にソーシャルワーク・地域生活支援拠点の考え方が浸透する。
- ②市内の事業所・専門機関の役割や取組について知る機会をつくり、障がい福祉従事者同士のネットワークが強くなる。

### イ 具体的な取組状況

- ①障がい福祉従事者にソーシャルワーク・地域生活支援拠点の考え方が浸透する。

障がい福祉に関わる様々な知識を学び合う場として、on-line ワークショップを企画・開催する。

【取組内容（予定含む）】

時期	取組	内容
9月 11月 1月	on-line ワークショ ップ	人材育成をテーマに自由に語り合い、現状を見つめなおす機会とする。様々な立場の意見を尊重するため、経験年数等は問わない。 全3回。テーマは、第1回「人材育成」(9/16)、第2回「人材定着」(11/11)、第3回「人材確保」(1/18) →Zoomを活用したリモート研修として開催

- ②市内の事業所・専門機関の役割や取組について知る機会をつくり、障がい福祉従事者同士のネットワークが強くなる。

市内障がい福祉事業所に協力を仰ぎ、研修委員を選定。市内障がい福祉従事者を対象とした初任者研修（1～5年）・中級研修（6～15年）を企画・開催。

【取組内容（予定含む）】

時期	取組	内容
8月 9月 10月	初任者研修	全3回。すべての回でグループワークを行い、つながりを意識するため、参加者同士でコミュニケーションをとる機会を設ける。 第1回（8/18）は地域アドバイザーの阪田氏から障がい福祉の歴史と支援者の心構えについて講義。その後のグループワークを通して意見交換を行う。 第2回（9/22）はグループワークで参加者の所属する事業所を紹介しあう。

		<p>第3回（10/20）は福岡県久留米市の社会福祉法人拓くの北岡氏から、久留米市の取り組みを紹介していただいた後、グループワークで意見交換を行う。</p> <p>→Zoomを活用したリモート研修として開催 全3回まとめ（資料No.2）</p>
<p>12月 1月 2月</p>	<p>中級研修</p>	<p>障がい福祉に携わって 6～15 年目の職員を対象に講義・グループワーク 自分の仕事を見つめなおす機会として開催。</p> <p>→Zoomを活用したリモート研修として開催</p>

## (1-3) 暮らしの場検討チームの事業計画

### ア 令和3年度の目標

- ①緊急時の受け入れ体制を整備する。
- ②障がい者（児）が地域で生活できる仕組み（住まいの場確保等）について協議する場「部会」を設置する。

### イ 具体的な取組状況

- ①緊急時の受け入れ体制を整備する。  
緊急時の定義に基づいて、市内の緊急時対応を必要とする方の実態把握をする。調査票を基に、市内の相談支援専門員に確認する。  
豊田みよしケアネットを活用できるようにする。

#### 【取組内容】

時期	取組	内容
令和3年 7月～9月	相談支援専門員に確認する。	緊急時対応を必要とする方の実態把握をする。
令和3年 7月～9月	豊田みよしケアネットへの登録を行う。	WG参加事業所に豊田みよしケアネットへの登録を依頼し、登録を行う。
令和3年 10月21日	ワーキンググループを開催し、協議する。	緊急時対応を必要とする方の実態調査の調査結果を報告する。（資料No.3-1） 豊田みよしケアネットの登録時・使用時の利用者への同意の取り方について検討する。（資料No.3-2）

- ②障がい者（児）が地域で生活できる仕組み（住まいの場確保等）について協議する場「部会」を設置する。  
部会設置に向け、月1回検討チーム（地域アドバイザー、しおみの丘、わらび）で協議し、必要に応じて関係機関と意見交換を行う。

#### 【取組内容】

時期	取組	内容
令和3年 7月6日	検討チームで協議する。	6月に実施した、愛知共同住宅協会理事（杉本氏）と意見交換の振り返りを行い、今後の取り組みについて協議する。

令和3年 8月2日	国土交通省中部地方整備局（早川氏・小林氏・木下氏）と意見交換をする。	障がい者（児）が、地域で生活できる仕組み（住まいの場の確保等）について協議する場「部会」設置に向けての情報収集をする。
令和3年 8月17日	検討チームで協議する。	国土交通省中部地方整備局との意見交換の振り返りを行い、今後の取り組みについて協議する。
令和3年 9月14日	瀬戸市居住支援協議会（瀬戸市役所高齢福祉課青山氏、居住支援法人まごころ大脇氏・池本氏・江本氏）と意見交換をする。	障がい者（児）が、地域で生活できる仕組み（住まいの場の確保等）について協議する場「部会」設置に向けて、情報収集をする。
令和3年 9月22日	検討チームで協議する。	瀬戸市居住支援協議会との意見交換の振り返りを行い、今後の取り組みについて協議する。
令和3年 10月26日	みよし市役所各担当課（福祉課近藤氏、林氏、児島氏、立石氏・長寿介護課近藤氏、七里氏・子育て支援課加納氏、都市計画課中野氏）と意見交換をする。	居住支援の現状について、みよし市役所各担当課担当者との意見交換をする。

## (2) 児童部会の事業報告、意見交換

### ア 令和3年度の目標

- ①新たな課題について解決策を検討する（早期対応段階の取組）。
- ②シートの評価を継続して行う（就学移行段階の取組）。
- ③学齢期の課題解消に向け、課題や解決策を整理し、取組を進める。

### イ 具体的な取組状況

- ①新たな課題について解決策を検討する（早期対応段階の取組）。  
児童発達支援運営委員会で『親子通園ルームふたば』の利用親子数の減少が見られたため、部会内で課題解決のための取組を実施し、結果の報告を行った。今年度児童部会は、健診から『ふたば』利用までの支援体制を現状に合うように見直していく。作業部会を設け、検討を行う。

#### 【取組内容】

令和3年9月から月1回程度作業部会を実施している。

時期	取組	検討内容
令和3年 9月6日	第1回 作業部会	みよし市における発達が気になる子どもの支援体制、健康推進課、『ふたば』の支援体制の確認。
令和3年 10月26日	第2回 作業部会	課題の共有と方向性を検討。

#### 【課題と方向性】

課題	方向性
ふたば利用児数の減少	ふたば・のびのび教室へつなぐ基準の確認。 (保健センターケースから基準を集約)
就労している家庭への支援	①対象児数の把握(健診でのフォロー数の確認。 ②よつばで並行通園を利用する保護者、働きながらふたば・のびのび教室に通う保護者にアンケートを実施。
2歳児の療育の充実	より専門的な療育体制の必要性を探る(単独通園、親子通園など)。 ①よつば・ふたば・なのはな・相談支援専門員にヒアリングを実施。 ②他市町の療育施設の状況把握(電話もしくは書面)。

②シートの評価を継続して行う（就学移行段階の取組）。

「みよし・つながりシート（以下、「シート」。）の効果を確認する。

【取組内容】

- ・保護者向けアンケートを実施する（11月頃配布、12月中に回収）。
- ・受け取った教員、作成した保育士等と意見交換を行う。

【取組内容（予定含む）】

小学校	実施者	園	実施者
令和3年 6月8日 三吉小	堀氏、菅田氏 福祉課、戸村	令和3年 11月8日 ベル三好	福祉課、戸村
令和3年 6月14日 黒笹小	阪田氏、柳田氏 福祉課、戸村	令和3年 11月29日 マーガレット	子育て支援課、 福祉課、戸村
令和3年 6月17日 南部小	堀氏、伊藤氏 菅田氏、福祉課 戸村	令和3年 11月17日 打越保	阪田氏、菅田氏 福祉課、戸村
令和3年 6月23日 北部小	河合氏、伊藤氏 菅田氏、福祉課 戸村	令和3年 11月25日 すみれ保	堀氏、菅田氏 福祉課、戸村

※来年度、上記訪問先以外の園や学校を訪問予定。

【（参考）令和3年度のシートに関するスケジュール】

時期	6月	7～8月頃	令和3年1月	2月	3月
内容	就学 相談会	個別の教育 支援計画作成	シート完成	学校に提出 教員が 園を訪問	要録提出 情報交換
	シートの周知、啓発、配布				

【（参考）様式の改定等に向けたプラン】

	2020	2021	2022
シートの 活用開始	□ □	シートの周知、啓発	
	保護者アンケートで評価、分析		
	保育士や教師との意見交換 保護者向けアンケート		

③学齢期の課題解消に向け、課題や解決策を整理し、取組を進める。

令和元年、2年度は学齢期の課題を再確認するため、小学校の特別支援教育コーディネーターとの意見交換を行った。

【取組内容（予定含む）】

課題	取組内容
関係機関との連携	相談支援専門員との交流会に参加 第1回：令和3年10月22日（オンライン） 今後、内容に関しても学校教育課と検討予定。
保護者対応の難しさ	基幹的相談支援センターと共同し、ペアレントプログラム研修を実施予定。

## ウ 部会での協議内容

時期	会議	内容
令和3年 7月6日	第1回児童部会	<ul style="list-style-type: none"> <li>運営目的や取組内容について意見聴取</li> <li>年間スケジュールの確認</li> </ul>
令和3年 11月2日	第2回児童部会	<ul style="list-style-type: none"> <li>上半期の取組状況について報告</li> <li>下半期以降の取組について協議</li> </ul>
令和4年 3月1日	第3回児童部会 (予定)	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和3年度の取組について報告</li> <li>令和4年度の取組について協議</li> </ul>

## エ 研修協力について

児童部会参加機関は、豊田市こども発達センター等の協力を得ながら、職員の資質向上のために研修を企画、開催している。令和2年度は、子育て支援課主催の研修の目的や内容等を重点的に再確認し、次年度以降の研修内容の参考にしていくためのヒアリングを実施した。今年度の子育て支援課主催の研修は、以下のとおり。

時期	目的・内容
令和3年 7月16日 13時～15時	<p>【目的】 年長児の発達段階と関わり方について学び、保育の質を高める。</p> <p>【内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>年長児の発達と支援について（豊田市こども発達センターより）45分</li> <li>みよし市の就学児支援について（市学校教育課より）45分</li> <li>年長児の担任でグループワーク 30分</li> </ul>

<p>令和3年 10月12日 13時～ 14時30分</p>	<p>【目的】 豊田市こども発達センターの作業療法の内容について知り、連携を強化する。</p> <p>【内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・作業療法での内容について</li> <li>・園での活用方法について</li> <li>・支援の必要な子を担任している職員でグループワーク</li> </ul>
<p>令和3年 12月16日 13時15分～ 14時30分</p>	<p>1園対象の研修（出前研修）</p> <p>【対象園】なかよし保育園</p> <p>【内容】事例検討</p> <p>※今年度は1園のみに絞って実施</p>



### (3) 就労支援部会の事業報告、意見交換

#### ア 令和3年度の目標

- ①職場体験先の職種を増やす（令和3年目標：1職種）。
- ②企業が積極的に障がい者雇用を考えるようになる。
- ③はたらくことについての問題点と課題を整理するとともに、就労支援部会の在り方を検討、整理する。

#### イ 具体的な取組状況

- ①職場体験先の職種を増やす（令和3年目標：1職種）。

職場体験先を事務系に絞り活動を行った。みよし市役所において、人事課が体験希望者のニーズに合わせて、年間を通して体験先を開拓する。利用の流れについては下記の通り。

  - ・実習1ヶ月前までに、人事課に職場体験したい職種、時間、期間などを就労支援を通して伝える。
  - ・本人が希望する部署と人事課が調整し、体験を実施する。
  - ・特定の期間のみの実施ではなく、通年で対応する。
  - ・対象は、16歳以上で担当相談員、就労支援員が一般企業での実習が可能であると判断した方。

##### 【取組内容】

時期	取組	内容
令和3年 9月13日、 9月15日 9時～15時	市役所職場体験 1名	・主な作業—人事課、会計課で金額入力と照合、振込用紙の記入、印鑑押し、明細書封入等。 ・事前に休憩時間の配慮、コミュニケーションの配慮を依頼した。

##### 【実習結果】

評価	配慮があればできるが、就労した場合に会社で同様な配慮が可能かどうか、基礎的な挨拶やお礼ができるが良い。
本人	できることと苦手なことが分かった。集中力は今回の配慮があればできる自信がついた。 今後の職業選択の参考にしていけることができる。

②企業が積極的に障がい者雇用を考えるようになる。

参加企業一応募企業数：19社（+個人1名）、当日参加企業数：17社  
アンケート結果（資料 No.4-1）

【取組内容】

時期	取組	内容
令和3年 9月27日 13時30分～ 15時30分	第1回障がい者 雇用支援セミナー (ZOOM開催)	コンサルティング会社の経営者をメイン講師に、「障がい者雇用を進める際の課題解決に向けて」と題し、会社が抱える不安の解消のために、支援機関の紹介、社内理解の必要性と障がい特性等についての講義をしていただいた。また、ハローワーク豊田から制度説明、愛知障害者職業センター、西三河北部障がい者就業・生活支援センター、くらし・はたらく相談センターからそれぞれの機関の紹介を行った。

③はたらくことについての問題点と課題を整理するとともに、就労支援部会の在り方を検討、整理する。

a みよし市内の中学校特別支援級を対象に、はたらくことに初めて接する機会である職場体験の実態調査を行う。

【取組内容】

時期	取組	内容
令和3年 8月6日、 8月24日、 10月3日、 11月2日	職場体験の実態調査	職場体験を行う北中学校、三好丘中学校、南中学校に訪問し、あいさつ、調査依頼をした。

b 平成22年度に出された「みよし市で障がい者の就労支援を行うにあたっての課題」（\*以下「H22年度9つの課題」と表記）の評価を行い、現在の課題について検討、整理する。WGを作り活動する。

【取組内容】

時期	取組	内容
令和3年 8月23日、 9月27日	第5、6回 WG会議	過去の就労支援部会の活動を年表にし、共有をした。(資料No.4-2)
令和3年 10月4日、 10月26日、 11月5日	第7、8、9回 WG会議	「9つの課題」の現状と今後の方向性について検討した。(資料No.4-3)

ウ 部会での協議内容

時期	取組	内容
令和3年 10月20日	第1回 就労支援部会開催	令和3年度の事業報告をした後、「H22年度の9つの課題」について意見交換をした。 (資料No.4-3右参照)

就労支援部会では出された意見をもとに、WGで「H22年度の9つの課題」の評価を行う。(資料No.4-4)

## (4) 精神保健福祉部会の事業報告、意見交換

### ア 令和3年度の目標

- ①支援につながり、社会参加していける仕組みを作る。
- ②当事者が地域で楽しんで活動できる仕組みを作る。
- ③入院に至らず、地域で生活していくための支援を検討し仕組み化する。

### イ 具体的な取組状況

- ①支援につながり、社会参加していける仕組みを作る。  
地域の「ひきこもり支援」を検討する連絡会を作る。

#### 【取組内容（予定含む）】

時期	取組	内容
令和3年 7月27日	第1回ひきこもり 支援連絡会（準備 会）開催	・「ひきこもり支援連絡会」設置目的の 確認 ・各機関の取り組みと課題の共有
令和3年 8月24日	第2回（準備会） 開催	・連絡会の目的と内容の検討① ・「ひきこもり」の名称の検討①
令和3年 9月28日	第3回（準備会） リモート開催	・「ひきこもり」の名称、連絡会の名称 の検討② ・連絡会の目的と内容の検討②
令和3年 10月26日	第4回（準備会） 開催	・ひきこもり経験者の声を聴く会
令和3年 11月30日	第4回（準備会） 開催	・ひきこもり経験者の声を支援者に聴 いてもらう企画検討（2月予定） ・各支援者のケースから実態を把握し ていく（方法検討）

#### 【参加機関】

相談支援地域アドバイザー、衣浦東部保健所、一般社団法人 HATO、知立若  
者サポートステーション、福祉課、はたらくサポートセンター

- ②当事者が地域で楽しんで活動できる仕組みを作る。

当事者が当事者から学べる機会（学習会等）を開催する。

部会（第1回、第2回）とWG（第1回）で、当事者向けのイベントを  
検討した。日本福祉大学の青木教授にお願いし、対面とリモート両方の  
パターンでワークショップ（学習会）を開催する案もあった。

しかし、実際に相談で関わる支援者への聞き取りを行ったところ、出会

いの場を求めている反面、学習会やリモートへの抵抗感もあり、参加者が見込めず開催の難しさがわかった。

新たな社会資源（居場所）ができた後、利用者を巻き込む形での開催が望ましいと、来年度の企画開催を検討していくこととなった。

③入院に至らず、地域で生活していくための支援を検討し仕組み化する。

個別支援ケースを持ち寄り必要な支援を検証し、優先順位を決め、必要な支援づくりに取り組む。（ワーキンググループ形式）

【取組内容（予定含む）】

時期	取組	内容
令和3年 8月12日	第1回WG開催	<ul style="list-style-type: none"> <li>・こころのサポートガイド活用等、昨年度WGについての確認</li> <li>・当事者向けイベントの検討</li> <li>・病院の困りごとから地域課題検討</li> </ul>
令和3年 10月8日	第2回WG開催	<ul style="list-style-type: none"> <li>・病院の困りごとから地域課題検討</li> </ul>
令和3年 12月24日	第3回WG開催	<ul style="list-style-type: none"> <li>・みよし市の地域課題と病院課題の擦り合わせ</li> <li>・検討課題の絞り込み</li> </ul>

【参加機関】

部会参加メンバーと同じ、都合のつく限り参加をお願いしている。

## ウ 部会での協議内容

時期	会議	内容
令和3年 10月27日	第2回精神保健福祉部会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・精神障がい者等サポート事業の報告と意見交換</li> <li>・ひきこもり支援連絡会（準備会）の報告と意見交換</li> <li>・当事者向けイベント開催の検討</li> <li>・WGの報告と意見交換</li> </ul>

※精神障がい者等サポート事業の報告は別紙のとおり。（資料No.5）

【参加機関】

相談支援地域アドバイザー、衣浦東部保健所、衣ヶ原病院、豊田西病院、南豊田病院、和合病院、みよし訪問介護（ふれあいサービス）、みよし地域精神障がい者家族会（さつき会）、健康推進課、福祉課、はたらくサポートセンター

## (5) 医療的ケアさぼーと部会の事業報告、意見交換

### ア 令和3年度の目標

- ①医療的ケア児（者）を地域に知ってもらう。
- ②医療的ケア児（者）の受入れ場所を確保し、緊急時等に備える。
- ③今ある資源の評価と課題解決を行う。
- ④医療的ケア児（者）の対応可能な人材を増やし、育成するための研修会を開催する。

### イ 具体的な取組状況

- ①医療的ケア児（者）を地域に知ってもらう。  
周知啓発ワーキンググループを設置。活動の趣旨確認、目的及び方向性、取り組み内容を協議した。（資料 No.6-1）

#### 【取組内容】

時期	取組	内容
令和3年 10月26日	第1回 周知啓発ワーキン ググループ開催	目的・目標・取組内容について協議し、 決定する。

#### 【(参考)周知啓発ワーキンググループ参加機関】

NPO 法人いきもの語り、子育て支援課、キッズラバルカ（部会長）、みよし市社協（事務局）

- ②医療的ケア児（者）の受入れ場所を確保し、緊急時等に備える。  
市内医療機関に対し、隣市が実施している医療型短期入所について聴取した内容の説明をし、現状と課題の共有を行った。（資料 No.6-2）

#### 【取組内容】

時期	取組	内容
令和3年 8月25日	市内医療機関との 打ち合わせ	みよし市民病院地域連携・相談室と医 療的短期入所導入に向けての情報提 供及び課題の共有を行った。

- ③今ある資源の評価と課題解決を行う。
  - ・「医療的ケアが必要な方の情報ガイド」について、豊田市地域自立支援協議会医療的ケア児者支援部会会長と担当で評価及び修正を行った。
  - ・医療的ケア児等コーディネーターワーキンググループにて、医療的ケア費給付事業の運営や役割の確認と、活動費について具体的な検討を実施した。

【取組内容】

時期	取組	内容
令和3年 9月3日	第2回医療的ケア児等ワーキンググループ開催	医療的ケア児コーディネーターの任命方法などの進捗状況の報告、ケース報告を行った。(資料 No.6-3)
令和3年 9月7日	豊田市地域自立支援協議会との打合せ	情報ガイドの周知状況・活用状況の評価を行い、修正点の確認を行う。(資料 No.6-4)
令和3年 11月11日	豊田市地域自立支援協議会との打合せ	各医療機関と NICU を退院されたご家族に対し、情報ガイドについての要望を聴取、内容の共有、検討を行う。
令和3年 11月15日	第3回医療的ケア児等ワーキンググループ開催	学校教育課に参加してもらい、医療的ケア費給付事業の普及啓発方法や学校で窓口となる教員について検討。

【(参考) 情報ガイドの検討】

豊田市地域自立支援協議会：ON、光の家、みよし市社会福祉協議会（事務局）・キッズラバルカ（部会長）

【(参考)医療的ケア児等コーディネーターワーキンググループ参加機関】

訪問看護ステーション mom、相談支援 OK サポート、健康推進課、福祉課、キッズラバルカ（部会長）

- ④医療的ケア児（者）の対応可能な人材を増やし、育成するための研修会を開催する。

【取組内容（予定含む）】

時期	取組	内容
令和4年 (未定)	市内事業所・保育・教育関係者への研修会開催	詳細は、今後の打合せで決定予定。

ウ 部会での協議内容

時期	会議	内容
令和3年 9月21日	第1回医療的ケアさぽーと部会	医療的ケア児等ワーキンググループからの報告、周知啓発ワーキンググループの決裁、医療的ケア児支援法についての説明、医療的ケア児等コーディネーターが関わっている事例検討を行う。(資料 No.6-5)

令和4年 2月	第2回医療的ケア さぽーと部会 (予定)	<ul style="list-style-type: none"><li>• 令和3年度の取組について報告。</li><li>• 令和4年度の取組について協議。</li></ul>
------------	----------------------------	---